

選定基準別提案内容と事業実績の確認

施設名	湘南海岸公園
指定管理者名	株式会社湘南なぎさパーク
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（藤沢土木事務所）

選定基準大項目	評価項目				審査（評価）の視点（C）	提案内容（D）	指定期間 令和4年度の事業実績（E）	所管課による課題分析等（F）	事業実績の確認方法（G）			
	選定基準中項目（A）	小項目（B）	配点	選定時の評価点					実績報告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(1) 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等	基本姿勢及び管理運営方針	5	4	指定管理業務全般を通じた団体等の総合的な運営方針、考え方	○ これまで培った経験や周辺の施設との連携、利用者、関係者のご意見等を踏まえながら、地域や県内、更には国内外から訪れる多くの方々に、快適で安全安心で魅力ある公園を満喫していただけるよう、高い水準の管理運営を行う。	・公園利用者が快適で気持ち良く利用できるよう、芝生を含む植栽管理については維持管理基準以上実施した。 ・噴水広場利用者が利用できるよう日陰にテーブル付きベンチを2基設置し、利用者より好評を得た。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・利用状況を踏まえた柔軟な施設管理などへの取組みは、公園の魅力度アップにつながることから、今後も継続して実施していくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針	○ 公園固有の価値や特性を踏まえた管理運営方針として、「快適で安全安心のための利用者サービスの提供」「立地環境に適応した維持管理」「公園の魅力の向上」「地域やNPOとの連携による賑わいづくりと課題解決」「全社体制による効果的な管理運営」を掲げ、配慮の行き届いた管理に努める。	・芝生広場ベンチを設置。 ・夜間警備を365日実施し、焚火等の迷惑行為の対応に当たった。 ・サーフビレッジ南側に眺望案内盤を設置した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・湘南海岸に面し、夜間利用も多いことから、今後も安全面の強化などの取組みを継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針	○ 利用者や地域住民、環境等に配慮した管理運営方針として、「さまざまな利用者、地域住民への配慮」「環境に配慮した管理運営」に取り組む。	・海浜車椅子を年度内で6回貸し出した。 ・英語、イラスト、ピクトグラムを用い、一部掲示物を更新した。 ・バリアフリーマップの配布や外国人向けパンフレットを配架する等、情報提供を充実した。 ・ホームページ上でタイムリーな駐車場情報（空き台数情報）を提供し、渋滞緩和に役立っているなど、園内及び周辺環境への配慮に努めた。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、様々な方が公園を利用しやすい環境整備を継続していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等（委託先の選定方法、県内（地域）企業への委託の考え方）	○ 公園の利用者対応や、安全管理、管理運営の根幹となる日常的な維持運営業務を直営で行い、警備や清掃、植物管理の一部業務を専門業者に委託することとし、地域企業等との連携を推進する。	・警備、清掃業務について自社他施設と一括入札を行い経費を縮減した。 ・委託のほとんどを県内事業者へ委託し、複数社からの見積書徴収等、社内規程に基づき業者を決定した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・コスト削減に向けた取り組みは、今後も継続して実施していくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	(2) 施設の維持管理	都市公園施設及び植物の維持管理業務の実施方針	10	8	公園の特性と課題を踏まえた維持管理の考え方	○ 海に面した厳しい自然環境下にあるため、強風や塩害、大量な砂などに常に晒されており、また、年間約200万人もの多くの方々が公園施設を利用することから、日々の清掃や安全点検などを徹底し、これまで培ってきた知識と経験を活用することで、維持管理の質の向上に努める。	・自社で保有する重機を用い、年62回の堆砂除去を行い、速やかに園路等の通行障害解消や、飛砂防止柵等の修繕を計画通り実施した。	・海岸に面しているため堆砂除去は必要不可欠であり、今後も公園の利用環境の維持を継続的に行っていくことを期待する。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					施設保守点検業務、小破修繕業務等の実施方針	○ 日常巡視や点検の強化と小破修繕の迅速対応で、事故防止や死角の排除を行い、施設・設備の長寿命化を図り、快適で安全安心な環境を創出する。特に小破修繕対応では、破損や動作不良の発生前の処置を心掛け、被害の拡大を防ぐとともに、保有技術による高度な修繕により、迅速できめ細やかな小破修繕を実施する。	・直営修繕チームにより迅速できめ細かな小破修繕（竹柵の修繕・落書き消し等）の実施、トイレ及び園内清掃を毎日実施することにより、経費節減と迅速対応を行った。	・潮風により施設の老朽化が進行しやすいことから、継続して取り組んでいくことが望まれる。 ・今後もきめ細やかな対応を期待する。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					清掃業務、受付業務、警備業務等の実施方針	○ 管理基準を上回る対応や工夫をこらした対応を行うことで、公園利用者に行き届いたサービスの提供を継続して行う。	・トイレ清掃の365日実施、特別清掃、巡回時の清掃を実施し清潔な施設維持に努めた。 ・自社で保有する重機のほか、スポット的に耕運機などをレンタル対応し、省力化、機械化を図った。	・今後も、きれいで清潔な利用環境を維持する工夫を継続的に散り組んでいくことを期待する。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					樹林地や草地管理、樹木、芝生、草花などの植物管理業務等の実施方針	○ 樹木や植物の維持管理に当たっては、子や孫の世代を見据えた長期的視点に立った維持管理に努める。	計画通り実施 ・過密化しすぎた松林では間伐する樹を選定したうえで間伐、剪定と樹ごとに対応を行い、松林の健全化による長寿命化を図った。	・海岸に面した公園であるため、防砂林の効果有する松林の管理は重要であることから、今後も継続して取り組んでいくことが望まれる。	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	7	公園の特性や利用状況（繁忙期・閑散期等）、新しい生活様式などの社会状況に応じて、多くの利用を図るために実施する事業の実施方針、内容等（有料施設は除く）	○ 利用促進のため、公園の特性上溜まりやすい砂への対応や、トビ被害を軽減するための取組を行う。 ○ 公園の特色を生かしたイベントによる利用促進策として、「鶴沼ハワイアンフェスティバル」「湘南海岸公園まつり」「ビーチヨガ」等を継続する。	・住宅地への飛砂防止のため防砂ネットの導入や堆砂除去実施。 ・トビ対策として、広場に糸張りポールを設置。 ・コロナ禍で自粛していた鶴沼ハワイアンフェスティバル、湘南海岸公園まつり、ビーチヨガを実施。特に湘南海岸公園まつりは過去最高の12,000人の来園を記録した。	・周辺環境に合わせた対策により、利用が促された。 ・イベントによる賑わいの創出は、公園の魅力度向上に繋がることから、今後も継続して取り組んでいくことが望まれる。	○		○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの向上	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用促進の取組	10	7	<p>有料施設における利用者増及びサービス向上に資する事業の実施方針、内容</p>	<p>○ 弊社が管理している近隣の他駐車場（西部駐車場、中部駐車場、中部バス駐車場、片瀬海岸地下駐車場、鶴沼海浜公園駐車場）と連携し、利用目的に応じた料金体系や営業時間を設定するなど、利便性の高い管理運営をする。</p> <p>○ 利用者のニーズに合わせて、サーフビレッジ内にアイスの自動販売機の設置や、人気商品のある自動販売機への見直し、自動販売機のないエリアへの新設等を行った。今後も、利用者のニーズを捉え、随時見直ししていく。</p>	<p>・大型車の中部バス駐車場への案内、自社HPで駐車場ごとの空き台数が見られるサービスを提供し利便性の高い管理運営に努めた。</p> <p>・現状の自動販売機を増減せず配置したが、売上好調により計画比113%を達成した。</p>	<p>利用状況に合わせたサービスの提供により、利便性が高くなった。</p> <p>・今後も、公園の利用状況を踏まえた適切な施設運営に取り組んでいくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>多くの利用を図るために行う広報・情報発信の工夫等</p>	<p>○ 公園施設や海岸、周辺地域の情報が多くの方に届くよう、SNSなど多様な手段で発信する。発信にあたっては、広報する時期や手段、利用者が利用施設を探している週末など、媒体がその利用者層に適切に届くかなどに留意し、タイムリーな情報発信に取り組む。</p>	<p>・SNSにより花や風景、イベント告知などを頻りにPRした。また、市内の観光案内所に公園のパンフレットを配架したほか、親子層向けのweb媒体へイベント情報を掲載するなどニーズに応じた広報も行った。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・今後も、SNSの活用やターゲットを絞った情報発信など、より効果的な情報発信に取り組んでいくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>公園の特性をより効果的に活かすために行う自主事業の内容等</p>	<p>○ マリンスポーツやアウトドアの活動を楽しむ方々のニーズに対応するため、レストランや温水シャワー、物品販売、テント貸し出しなどを、自主事業として行う。</p>	<p>・タコスマイル（カフェ）を運営し、利用者に軽飲食を提供した。</p> <p>・日差し対策用テントの貸し出しを行った。</p> <p>・シャワー利用者へシャンプー&amp;ボディソープ、ビーチバレー利用者へ熱い砂対策のサンドソックスを販売するなどニーズに対応したサービスを提供した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・今後も、公園利用者のニーズに即した利用サービスの提供に取り組んでいくことを期待する。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>利用料金の設定、減免の考え方（有料施設がある場合のみ）</p>	○ 該当なし。	該当なし。	該当なし。				
	(3) 利用促進のための取組、利用者への対応、利用料金	利用者対応・サービス向上の取組	5	4	<p>接客や利用者との対話、公園利用ルールの利用者への助言、指導等の考え方</p>	<p>○ すべての利用者に対して、笑顔での挨拶と丁寧な言葉遣いを基本として接する。また、多くの来園者が訪れる公園として、利用者が安全安心に利用できるよう、危険行為や迷惑行為に対し職員全員が統一した姿勢で、公正・公平な立場、柔らかな対応で公園利用のルールの周知や遵守を図る。</p>	<p>・スケートボード、犬の放し飼いやなどで迷惑している他の利用者が居ることを説明し、誰もが安心して利用できる公園にしたいことを根気よく伝えた。また、指導も高圧的にならないよう柔らかい言葉遣いを心がけた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・様々な方が他者への思いやりを持ちながら、互いに心地よく公園を利用してもらえる取組を、今後も継続していくことが必要である。</p>	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>サービス向上のために行う利用者ニーズ・苦情の把握及びその内容の事業等への反映の仕組み等</p>	<p>○ サービス向上や利用者満足度の向上のため、積極的に意見を収集する。また、収集した意見は県と十分な協議を行い、実現可能なものは費用軽減等創意工夫を凝らしながら実現を図る。</p>	<p>・スケートボードの多い海風のテラスへは、利用者からの要望を受けたため、県と協議し新たな芝生化と新規ゴムマットを購入してもらい、自社でもゴムマットを購入し対応した。</p> <p>・スケートボード対策のゴムマットにより車いすが通れないとの要望があったため、事情の説明の上配置を変更した。</p>	<p>・苦情・要望に対し、迅速な対応が実施された。</p> <p>・今後も、施設の破損や利用者同士の事故を未然に防ぐ取組を継続していくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>外国人、障がい者、高齢者等誰もが円滑に施設利用するための、コミュニケーションにおける工夫及び必要に応じた支援の方針</p>	<p>○ 観光地である江の島に近く、海水浴等で国籍等問わず様々な方が訪れることから、4言語の外国語パンフレット作成や海浜車いすの貸し出しなど、サービス提供に偏りのないユニバーサルサービスを意識した公園管理に取り組む。</p>	<p>・4言語のパンフレットを館内へ継続配置した。海浜車椅子、通常の車椅子の貸し出しも継続実施し、利用者から喜ばれた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・今後も、様々な利用者が利用しやすい公園を目指した公園管理を継続していくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>神奈川県手話言語条例への対応</p>	<p>○ 全社員を対象とした障がい者研修を毎年開催し、全員が手話の実技研修を行うとともに、窓口には聴覚障がい者用に筆談用具とコミュニケーションボードを用意し、聴覚障がい者の利便性向上に努めており、引き続き取り組む。</p>	<p>・（特非）神奈川県障害者自立生活支援センター講師により手話研修や災害時の障害者の対応等の「障害者理解促進研修」を全員が受講した。また、コミュニケーションボードは窓口へ常設した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・今後も、研修の実施などを期待する。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防止、緊急時の対応	10	8	<p>指定管理業務を行う際の公園の特性を踏まえた事故防止等の取組内容</p>	<p>○ 塩害による錆や強風による堆砂などへの対策や、監視カメラによる遠隔監視による犯罪抑止など、公園の特性に応じた事故防止等に取り組む。</p>	<p>・1月、2月に発生した園内での火事事故については監視カメラの映像をもとに行方者が警察に連行された結果、被害の拡大を防ぐことができた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・今後も、犯罪抑止に向けた適切な施設管理を継続していくことが望まれる。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>樹林地の過密化や巨木化等に起因する災害を未然に防止する点検等の考え方</p>	<p>○ 日々の巡回や台風が来る前の重点点検で、安全確認を徹底するとともに、社員が間伐や下枝を落としたり、高い木の幹を途中から切ったり、折れそうな枝を切って落として、災害を未然に防ぐ。</p>	<p>計画的な間伐により生育不良樹の倒木を防いだ。</p> <p>・高木管理のうち災害未然防止管理においては繁忙期前かつ台風シーズン前に管理班職員、維持班職員が巡回し異なる目線での確認を行い、未然防止に努めた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。</p> <p>・複数目線での確認や高木の適切な管理は、事故の未然防止に有効であることから、引き続き取り組んでいくことが望ましい。</p>	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)			
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他	
I サービスの 向上	(4) 事故防止等安全管理	日常の事故防 止、緊急時の 対応	10	8	<p>事故・不祥事等の緊急事態が発生した場合や安全管理の妨げとなりうる事案を認知した際の対応方針（対応方針には、利用者に外国人や障がい者、高齢者が含まれていた場合を含む）</p>	<p>○ 県民の安全を確保するため、神奈川県及び藤沢市の「地域防災計画」に準拠し、関係機関と連携しながら、緊急時にも迅速かつ適切に対応できる体制を構築する。 ○ 「災害時行動マニュアル」を活用し、マニュアルに沿った行動をする。 ○ 有事の際に迅速に対応できるよう「緊急時対応訓練」を実施し、救命救急や避難誘導等の対策行動について社員に徹底する。</p>	<p>・緊急対応が必要な事態は発生しなかったが、市のハザードマップ更新などがあったかなど情報収集を行った。 ・6月に消防訓練を行ったほか、管理事務所の消防設備のチェックや各部屋の消火器等の位置確認も行い、緊急時に備えた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・緊急時に備えた訓練や機器の確認は、日常的に行うことが効果的であることから、今後も継続していくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>急病人等が生じた場合の対応 救急救命士等の配置、救命に関する職員研修等</p>	<p>○ 職員やカフェテリア店員等施設関係者を中心とした自衛消防訓練を毎年実施し、AEDの使用方法等の講習を継続する。</p>	<p>・6月に社員、カフェテリア店員等で消防訓練を実施した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・便益施設での緊急事態を想定した取り組みは、有事の際に効果的と考えられることから、今後も継続していくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>新型コロナウイルス等の感染症に対する対応方針</p>	<p>○ 新型コロナウイルスの感染状況が変化する中で、適度な運動等によるストレス解消など、公園の役割を最大限に発揮できるよう、感染対策を実施して密にならない対応や、掲示による周知などを行う。</p>	<p>・利用者へは県の指針や掲示物に沿った対応の周知を図りました。 ・館内の換気、消毒液の配置、多目的ホールの人制限等、「具体的な対応」のとおり実施した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・公園利用者に不安を与えないよう新型コロナウイルス対策を行っており、臨機応変に対応していくことが望まれる。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
		災害への対応 (事前、発生時)	5	4	<p>異常気象（大雨、台風、熱中症アラート等）への対応方針（事前、初動、発生時、応急復旧時）</p>	<p>○ 異常気象時の暴風雨や厳しい日射、落雷など、海岸に面した厳しい自然環境下にあるため、公園利用者・海岸利用者への情報提供の徹底と、的確・迅速な施設の応急復旧に取り組む。</p>	<p>・異常気象等による対応の発生はなかったが、熱中症対応のため救護ベットを配置し、水囊や経口補水液を提供したほか、ライフセーバー在館時は初期対応を依頼するなど重篤化防止に努めた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、緊急時の初期対応ができる取組みを継続して取り組んでいくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>公園の「震災時対応の考え方」に示す初動体制等への対応</p>	<p>○ 災害時行動マニュアルを用いて有事に備えるとともに、時間外においても速やかに参集できるよう、公園至近在住の職員配置に努める。</p>	<p>・有事の発生はなかったが、市内、近隣市町村在住の職員を配置し有事に備えた。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・今後も、緊急時の人員体制を継続的に維持していくことが必要である。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>大規模災害発生時の公園の特性、立地状況等に応じた災害対応の考え方（地域との連携、防災訓練、災害発生時の協力等）</p>	<p>○ 藤沢市との年1回の合同津波避難訓練の実施や、市民センターとの有事における行動の意識共有など、地元自治体等との協力体制を構築するとともに、公園や海岸利用者が有事の際に対応できるよう津波ハザードマップ等の掲示や、「津波一時避難場所位置図」の配架による利用者の意識向上を図る。</p>	<p>・藤沢市と連携し津波避難訓練を実施。 ・災害に備えた消防訓練、救命講習、防火設備の確認や、園内9箇所の標高表示板の下に至近の津波避難ビルを明示した地図を配置するなど、防災体制の構築に努めた。 ・独自の津波避難マップは事務所内2箇所で配架した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・津波避難が円滑にできる工夫を継続的に取組んでいくことに加え、利用者自らの意識を啓発していく取組みも講じていくことが望ましい。</p>	○	○	○	・月例報告 ・聞き取り
	(5) 地域と連携した魅力ある施設づくり	地域との連携体制、取組	5	4	<p>多様な主体（地域人材、自治会、関係機関）との連携、協力体制の構築等の取組内容</p>	<p>○ 指定管理の中で、地域や関係機関との日々のコミュニケーションの積み重ねにより、密接な協力体制が構築されており、今後もその協力体制の下、イベント開催や維持管理等を継続する。</p>	<p>・イベント開催時のポスターについては地元商店街に協力を仰ぎ、商店街に掲示を実施した。 ・消防団に緑陰広場駐車場を訓練場所として提供するなど地域との連携を図っている。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・地域や関係機関とのコミュニケーションを図りながら連携を図っていく取組みが、今後も継続されることを期待する。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>ボランティア団体等の育成・連携、協働の取組内容</p>	<p>○ ライフセービング団体との連携、植物管理ボランティアとの協働、NPOとの連携による犬猫対策など、ボランティア団体と連携・協働して積極的に課題解決に取り組む。</p>	<p>・ライフセービング団体とは特に救急車要請などソフト面での対応を指定管理者が担い、役割分担のうえ対応を図った。 ・他のボランティア団体は高齢化やコロナなどで活動がそこまで盛んではなく大きな対応はなかった。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・ボランティア団体と連携・協働に加え、活動しやすい環境の整備など、活動を促していくことにも取組んでいくことが望まれる。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>周辺施設（他の公園・施設等）との交流・連携の内容</p>	<p>○ 新江ノ島水族館とのイベント掲示などの連携、周辺駐車場の満空情報の発信、スケートパークと連携したスケートボード対策など、周辺の他施設と交流・連携の強化を図ることで、本公園の魅力を高め、利用者の満足度向上に努める。</p>	<p>・新江ノ島水族館とはイベント掲示などの協力はなかったが、ハード面での問題解決などでやり取りがあり、良好な関係を維持した。 ・満空情報は継続して実施し、空いている駐車場を選択できることにより、周辺の渋滞緩和に寄与した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・新江ノ島水族館と連携した公園利用の相乗効果発現に向け、今後も、継続して取り組んでいくことが望ましい。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り
					<p>地元企業への業務委託等による迅速かつきめ細かいサービスの提供に向けた取組内容</p>	<p>○ 業務委託を行う場合には、引き続き地元企業等に優先して発注する。</p>	<p>・業務委託実績にも記載のとおり22業務のうち20業務を市内、近隣市町村、県内の事業者へ委託した。</p>	<p>・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・地域を熟知する地元企業等との連携は、今後も継続していくことが望まれる。</p>	○		○	・月例報告 ・聞き取り

評価項目					審査（評価）の視点 (C)	提案内容 (D)	指定期間 令和4年度の事業実績 (E)	所管課による課題分析等 (F)	事業実績の確認方法 (G)				
選定基準 大項目	選定基準中項目 (A)	小項目 (B)	配点	選定時の 評価点					実績報 告書	現地※	その他		
Ⅲ 団体の 業務遂 行能力	(6)	コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	指定管理業務を実施するために必要な団体等の企業倫理・諸規程の整備、施設設備の維持管理に関する法規や労働関係法規などの法令遵守の徹底に向けた取組の状況（労働条件審査の実施予定など施設職員に係る労働条件の確認の有無を含む）	○ 神奈川県内の諸規程に準拠した就業、及び給与規程等を整備するとともに、指定管理者や駐車場運営の経験を踏まえた社内諸規定を制定、法令遵守を基本とする経営方針や体制を記載した「内部統制システム」の策定、社外研修などを実施している。 ○ 社会保険労務士と顧問契約を締結し、適正な労務管理や規定整備に努めている。	・県による個人情報保護規程の改正依頼に速やかに対応した。 ・指定管理業務遂行にあたっては社内各規程に則り業務を行ったほか、労務管理等は顧問の社会保険労務士と適宜相談や書類確認を依頼し適切に対応した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・法令順守の徹底を、今後も継続して実施していくことが望ましい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
					指定管理業務を行う際の環境への配慮の状況	○ 「神奈川県環境基本条例」「神奈川県地球温暖化対策推進条例」の理念と方針に従って、環境保全の取組を実施する。公園施設の維持管理における環境対策については、安全性、快適性、利便性に配慮しつつ、利用者に対しても環境への配慮について掲示等により啓蒙を図る。	・県へ依頼し、館内で最も点灯時間の多い管理事務所電灯のLED化を実現した。 ・外来植物についてはその対応方法を調べ、試行するなど対策を実施し、公園内の適切な生態維持に努めた。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・環境配慮や負荷軽減に向けた取り組みは、今後も継続していくことが望ましい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
		コンプライア ンス、社会貢 献	5	4	法定雇用率の達成状況等、障害者雇用促進の考え方と実績	○ 障害者雇用状況については、法定雇用率を達成していない。 ○ 障害者雇用の今後の対応については、藤沢公共職業安定所が主催する「企業と就労支援機関との出会いの場」に参加し、就労支援機関と交流を進める。	・全ての構成法人が、法定雇用人数を充足した。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に実施している。 ・法定雇用率の達成に向け、引き続き適切に取組んでいくことが望ましい。			○	・聞き取り	
					障害者差別解消法に基づく合理的配慮など、「ともに生きる社会かながわ憲章」の主旨を踏まえた取組	○ 障害者基本法や「ともに生きる社会かながわ憲章」の理念である、ともに生きる社会の実現に向けた施策を展開している。	・バリアフリーマップを園内トイレに掲示したほか、公園HPでも閲覧可能としている。 ・障がい者理解促進研修を通じ、障害の特性に応じた接し方を学んだ。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・誰もが利用しやすい公園の普及を図る取組みを、今後も継続していくことが望ましい。			○	・聞き取り	
					神奈川県手話言語条例への対応	○ 全社員を対象とした障がい者研修を毎年開催し、全員が手話の実技研修を行うとともに、窓口には聴覚障がい者用に筆談用具とコミュニケーションボードを用意し、聴覚障がい者の利便性向上に努める。	・障害者理解促進研修を全職員が受講した。 ・館内に簡単な手話と指文字の掲示をしており、利用者も手話に親しめるような工夫を行っている。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・誰もが利用しやすい公園づくりを目指し、引き続き取組んでいくことが望まれる。			○	・聞き取り	
	(7)	事故・不祥事への対応、個人情報保護	5	4	社会貢献活動等、CSRの考え方と実績、SDGs（持続可能な開発目標）への取組	○ 以下について、取り組む。 ・目標9 産業と技術革新の基盤を作ろう：維持管理運営として行っている公園内における発生物を資源として、環境に配慮した技術向上に利用していただく。 ・目標11 住み続けられるまちづくりを：公園利用者やその周辺の住民に「住み続けられるまちづくり」として、公園機能を生かした運営を行うことでその充実を図る。	・目標9については記載事項の履行のほか、園内の松ぼっくりを使用したクラフト教室も開催した。 ・目標11については記載事項の履行のほか、地域住民からの要望により樹林の間伐やスロープの落ち葉清掃を行い、日常の散歩道として倒木やスリップなどがないよう安全性を確保するなど対応を行った。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営されている。 ・発生物の有効活用や地域の住環境に配慮した公園管理の実施を継続していくことが望ましい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
					募集開始の日から起算して過去3年間の重大な事故または不祥事の有無ならびに重大な事故等があった場合の対応状況及び再発防止策構築状況	○ 過去3年間の重大な事故・不祥事はない。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行している。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営している。 ・引き続き、重大な事故や不祥事を起こさないよう努めてほしい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り	
						個人情報保護についての方針・体制、職員に対する教育・研修体制及び個人情報の取扱いの状況	○ 個人情報の利用に際しては、弊社ホームページにおいて、あらかじめ利用目的を公表したうえで収集している。また、あらかじめ公表した利用目的に従って、必要な範囲内でのみ、個人情報を取り扱っている。	・当該年度に重大な事故、不祥事はなく、適切に業務を遂行している。	・業務の基準及び提案書のとおり適切に運営している。 ・引き続き、個人情報の適切な取り扱いに努めてほしい。	○		○	・月例報告 ・聞き取り

※「事業実績の確認方法(G)」欄のうちの「現地」の欄は、「指定期間 令和4年度の事業実績(E)」欄の実績を現地で確認したことを示すもの。

選定基準別提案内容と事業実績の確認  
(施設写真)

施設名	湘南海岸公園
指定管理者名	株式会社湘南なぎさパーク
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
施設所管課	都市公園課（藤沢土木事務所）

※施設の概要が分かる写真を3～4枚程度掲載

	
管理事務所とちびっこ広場	多目的広場と津波避難タワー
	
海風のテラス	新江ノ島水族館